

「病院・介護・福祉施設における給食の現状と改善をめざして」

病院や介護・福祉施設において患者・利用者の健康維持に果たす食事提供の役割は重要性が高く、選択メニューなどのニーズの多様化、嚥下食やアレルギー対応など、専門性が高まっています。そして、療養生活を送る患者・利用者の「楽しみ」であることから、注目度も高まっています。

しかしながら病院・介護・福祉施設の給食現場では、調理職員及び栄養士について人材の確保が非常に困難となっており、さらに昨今の物価高騰により材料費や水光熱費の増加により病院給食部門の収支が病院経営に影響し始めています。

全国の医療・介護・福祉の現場で頑張っている調理師さん！
給食改善の取組みや嚥下食・介護食の創意工夫など、みんなで交流し合いませんか！そして、今抱えている問題や困難があれば、全国の仲間の知恵と力を借りて、改善の方向性を見つけてみませんか。参加すれば、きっと新しい発見に出会うはずです。いつも、驚きと感動が生まれる分科会です。

全国の医療・介護・福祉の現場で頑張っている栄養士さん！
栄養指導（相談）や入院・外来での医療活動・介護活動に取り組んでいることなど、是非報告して下さい。また、NSTや各疾患での症例報告など、栄養士としての気づきの一部分を切り取って、医療研に持って来て下さい。

医療研の給食分科会は、「食」と「健康」に係わる全てのスタッフの思いを寄せ集め、拾い集め、形にしていく分科会です。

私たちが提供している給食が、それぞれの医療・介護・福祉の施設にとっての特徴となり、それぞれの施設の持ち味となって表現されています。特殊な職場や恵まれた職場だけが医療研に参加し、存在しているわけではありません。何処にでもある困難だらけの職場からの工夫・実践の報告です。同じ困難を理解し分かち合える、有意義な学習・交流の場となる事を期待しています。

全国の仲間のレポート報告を中心に分科会を運営したいと思います。

一つでも多くの給食の現場から、一人でも多くの仲間の参加を呼びかけます。重ねて、全ての都道府県からの参加を呼び掛けます。

助言者	染原剛（大阪府医労連）
運営委員	鮫島彰（神奈川県医労連）
	青木博（全JCHO 労組中京）
	二階司（兵庫県医労連）